

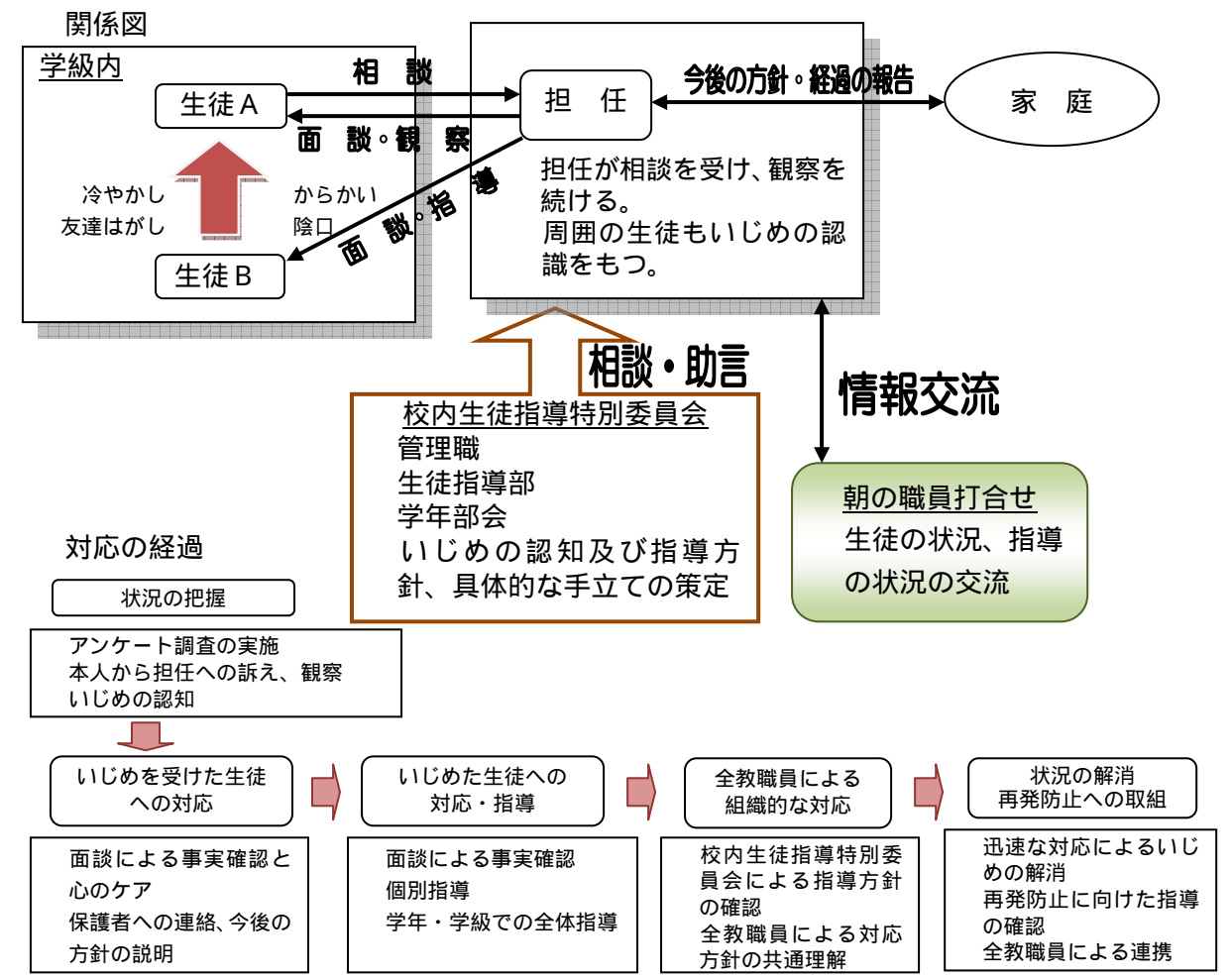
いじめを速やかに解消した事例3（中学校第2学年女子）

～全教職員による組織的な対応～

問題の把握

小学校の頃から特定の女子生徒との人間関係について担任に相談があり、観察を続けていたところ、陰口や友達はがしなどの行為を断続的に受けていることが判明したため、いじめであるとの事実を確認した。

対応状況



いじめの問題を速やかに解消するためのポイント

- ・いじめのアンケート調査を定期的実施するとともに、面談により生徒からの訴えを的確に聞き取ること。
- ・学級担任が一人で対応することなく、校内生徒指導特別委員会を中心に、いじめの認知及び指導方針、具体的な手立てについて策定すること。
- ・いじめを受けた生徒の保護者と速やかに連絡を取り、今後の方針等について説明を行うこと。